

令和8年度

稲敷市議会会議録反訳・検索・映像配信システム委託（単価契約）（長期継続契約） に関する仕様書

1 原稿・反訳

- ① 音声ファイル（MP3、WMA）からの聞き取りによる。
音声ファイルについては音声認識システム用サーバーまたは受託者が別途準備したサーバーへアップロードする。
※議会事務局専用のアカウントを作成し、ID及びパスワードを発行すること。
- ② 反訳作業による原稿作成については、1時間未満の場合は1時間とし、1時間を超過した場合は、30分単位での料金精算を原則とする。
- ③ 反訳による第1校納品は、音声ファイル及びデータ送信による反訳依頼後30日以内とする。
一般質問の納期については都度指示する。
- ④ 委員長報告等作成のため、議事録作成支援システム（音声認識システム）をASPサービスにて提供すること。また、修正用ソフトウェアを2ライセンス提供すること。
 - (ア) 音声データ・音声認識結果データの受け渡しの為にサーバーを用意して稲敷市議会用のアカウントを用意すること。
 - (イ) 音声ファイルをアップロード後、音声ファイルの長さ以内に音声認識処理を実施してダウンロードを可能とすること。
 - (ウ) 音声ファイルは、WAV、MP3、WMA形式に対応していること。
 - (エ) ダウンロードしたファイルは修正用ソフトウェアを用いて議事録作成を行えるようにすること。
 - (オ) 修正ソフトウェアは2ライセンス貸与すること。
 - (カ) 修正用ソフトウェアは下記の機能を有すること。
 - ① 発話区間単位で音声を聞きながら認識文字列を修正・編集できること。
 - ② キーボードショートカット及びツールバーのカスタマイズが自由に設定できること。
 - ③ キーボードとマウスを使用して（またはキーボードのみでも）編集作業が行えること。
 - ④ 発話区間の時間位置の変更ができること。
 - ⑤ 発話区間の開始時刻と終了時刻が画面上で確認できること。
 - ⑥ 単語単位で認識文字列の複数の候補が選択修正できること。
 - ⑦ 編集した結果を指定する議事録の体裁・書式に直接出力できること。
 - ⑧ 発話者、発話開始時間、発話終了時間、認識結果文字列、編集結果文字列、編集者名が並べて表示できること。音声信号は波形表示され、発話区間も視覚的に表示できること。
 - ⑨ 認識結果の文字列に対するカーソル位置と音声再生の開始位置がリンクしていること。
 - ⑩ 万が一データが流出しても、ライセンス証書に記述されたID以外では取り扱うことができないこと。
 - (キ) 修正用ソフトウェアを市が指示するパソコンにインストール（複数台）すること。
 - (ク) 修正用ソフトウェアの操作説明を行うこと。
 - (ケ) 操作用のマニュアルを稲敷市議会の運用にあわせて作成すること。
 - (コ) 音声認識結果の修正作業がオフライン、オンラインどちらでも可能なこと。

2 原稿校正

- ① 第1・第2校とし、第2校はその都度指示するものとする。
- ② 原稿は、完成品会議録の納入と同時に返却する。

3 守秘義務

- ① 本業務において知り得た事項については、守秘義務を遵守すること。
- ② 反訳作業は社内処理とすること。
- ③ 本データ及び音声ファイルを安全かつ厳重に保管し、反訳原稿提出のときに返還または消去しなければならない。
- ④ 資料及び成果品は、紛失または流失の恐れがあるため、議会事務局内においての直接手渡しによる受け渡しとし、郵送は認めないものとする。
- ⑤ プライバシーマーク認証を取得していること。

4 納品に関する規格

WORD：A4判

横書き

1行40文字（10.5ポイント）×35行（定例会・臨時会・各委員会とも）

余白 上28mm 下28mm 左26mm 右23mm

5 納期

成果品は、第2校の受領後30日以内とし、事務局が指定する日に納品すること。

6 会議録検索システム

インターネット上で、検索システムが構築された本会議（定例会・臨時会）会議録データベースの閲覧ができるサービスである。受託業者は、会議録データベースをインターネット上で配信すると共に、それに伴う保守及びデータ更新等を行うホスティングサービスを提供する。

①検索及び閲覧機能

- ア) 文書管理ソフトの有する機能を最大限活用すること。
- イ) 画面デザイン及び機能については、議会事務局と協議の上、文書管理ソフトに標準搭載されている機能等の範囲内において変更することが可能であること。
- ウ) 文書管理ソフト用に変換された会議録データベースを検索システムに設定し、インターネット上で閲覧・検索することができるものとする。平成17年第1回臨時会からの会議録データベースを配信し、定例会及び臨時会開会のたびに追加及び更新を行うこと。
- エ) 議会事務局の予備1台を含む2台の既設端末に、Webシステムではない専用システムを設定しサーバーのバックアップシステムとすること。なお、既設端末については、管理者権限のないユーザーで利用が可能なものであること。
- オ) 専用システムは、稲敷市が管理する既存の端末や庁内ネットワークに一切影響を与えないものであること。
- カ) 会議録データベースは毎回フルデータを暗号化し、一つのファイルに圧縮したものをCDにより議会事務局に納品すること。
- キ) 専用システムの会議録データベースの更新は、議会事務局職員により簡単な操作でできるものであること。

②会議録データベース

- ア) 暗号化され、発言内容の改ざん等の恐れがないものであること。
- イ) データ更新は毎回全データを追加更新し、そのデータ自体がバックアップとなるものであること。
- ウ) データの所有権は稲敷市に帰属するものとする。

③議会事務局へのサポート

- ア) システムの設定又は変更後は、議会事務局職員への講習を行うこと。
- イ) システムに関する技術的な指導を行うこと。
- ウ) システムのバージョンアップ及び障害対策による更新等を行うものとし、作業に伴うサポート料を含めること。

④システム機能の詳細

現在公開しているシステムが持っている機能は、すべて標準で搭載していること。

ア) システム導入前提

- ・純国産の全文検索エンジンを搭載。
- ・行政用語を含む6万語程度のシソーラス辞書（同義・類似語辞書）を標準搭載。
- ・既存の検索システムに搭載されているシソーラス辞書のすべてを搭載。
- ・シソーラス辞書は差別用語・不適切用語は一切含まれず、過去に問題をおこしたことがないものであること。
- ・稲敷市議会独自のシソーラス辞書の構築が可能であること。
- ・既に登録済みのユーザーシソーラス辞書は、システムから抽出し搭載すること。
- ・標準で同時アクセス数に制限がないこと。
- ・閲覧する端末のOSは、現存するいずれのOSでもよいこと。
- ・Web検索システムはJavaのアプレット等のActiveXを採用せず、CGIのみのシステムとする。
- ・会議録データベースは暗号化され、発言内容の改ざん等の恐れがないものであること。
- ・サーバー内に会議録のテキスト成分を格納する仕組みでないものであること。
- ・会議録検索システムは、スマートフォン及びタブレット端末専用で作成されたレイアウトにて閲覧可能であること。
- ・スマートフォン及びタブレット端末専用レイアウトは、検索結果にフレームを利用しないデザインであり、端末に適した表示可能なリキッドデザインの機能を有し、サイドメニューを使用しない表示が可能であること。
- ・スマートフォン及びタブレット版それぞれの端末に応じた、文字の大きさを自動で表示することが出来る機能を有すること。
- ・スマートフォン版とPC版を切り替えるリンクを設けること。
- ・スマートフォン及びタブレット端末専用で作成された他自治体で公開しているサイトを確認できること。

イ) 検索機能

- ・入力されたキーワードは、全/半角を同じ用語として検索できること。
- ・入力されたキーワードは、大/小文字を同じ用語として検索できること。
- ・複数キーワードに対し、AND、ORを選択して検索できること。
- ・キーワードごとに同義語展開の有無が指定できること。
- ・空白で区切ることにより、複数のキーワードで検索ができること。
- ・発言種別（議長、質疑者、答弁者、目次、その他）で検索できること。
- ・会議種別（定例会、臨時会、委員会）で検索できること。
- ・会議の会期間で検索できること。
- ・会議名をフリーワード入力により検索できること。
- ・発言者を表示されているリストから選択して検索できること。
- ・発言者をフリーワード入力により検索できること。
- ・発言者を複数指定して検索できること。
- ・役職を表示されているリストから選択して検索できること。
- ・役職をフリーワード入力により検索できること。
- ・会派、所属を表示しているリストから選択して検索できること。
- ・キーワードとなる検索語を掲示し、クリックするだけで検索結果を表示することが可能なトピックス検索の機能があること。

ウ) 表示機能

- ・起動初期画面に会議一覧が表示され、キーワードを入力し、閲覧ができること。
- ・執行部、議員の区別がつきやすいように職氏名の前に記号を付与すること。
- ・検索結果の表示順は新しい会議順、古い会議順の選択ができること。
- ・会議日単位で、全発言連結表示、発言者ごとの一発言表示の切替えが可能であること。
- ・検索結果には、ヒット日程件数・会議名・開催日の情報が表示され、日程ごとに結果が

表示できること。

- ・ 検索結果の日程をクリックすると、職氏名、会議録ページ情報と検索語のヒット語句を含む前後の発言部分を表示すること。
- ・ 検索語句はキーワード別に色分け表示となること。
- ・ 次ヒット、前ヒットボタンにより、ヒット箇所へ本文がジャンプして表示できること。
- ・ 2画面表示に設定することが可能で、質疑に対し答弁がセットで表示可能であること。
- ・ 日程ごとの発言者リストには色づけ表示等ヒット発言者が区別され、また、そのヒット発言者のみ表示できる機能があること。

エ) ダウンロード機能

- ・ チェックした発言者の発言本文のみをダウンロードすることができること。
- ・ キーワード検索の場合、ヒットした発言者には最初からチェックがしてあること。
- ・ ワープロソフトで内容を表示し、ハードディスク内にファイルとして保存することができること。

オ) 印刷機能

- ・ 発言のすべて又はある部分を指定して印刷ができること。
- ・ 会議名、職氏名、会議録ページ情報にヘッダーをつけて印刷ができること。

カ) その他

- ・ 会議種別により会議録の公開範囲を設定することが可能であること。
- ・ 特定の語句を含む会議のみ非公開（閲覧不可）にする機能を有すること。
- ・ 使用する文字は、JIS 第1水準漢字・非漢字及びJIS 第2水準漢字とする。また、データに含まれる外字については、受託業者と協議のうえ対応することとし、それ以外の文字や記号、外字を使用する必要がある場合も同様とする。

キ) 議会事務局用専用ソフト（専用システムに設定するソフト）

- ・ 発言のすべて又は一部分を次々と指定し、WORDにダウンロードできる機能を有し、その際、会議名、日時、会議録ページ、職氏名を同時に貼り付けられること。
- ・ 複数年分及び単年度分の答弁集、質問集が容易に作成でき、それらを一括してワードにダウンロードできること。
- ・ 議題抽出機能、議事次第書作成機能、発言箇所リスト作成機能及び発言内容自動検出機能があり、WORDにダウンロードできること。
- ・ 日程順以外に人名順、役職順の表示機能は、検索前後で有効であること。
- ・ 各種検索条件の保存が、任意で可能であること。
- ・ 検索結果一覧の体裁を整え検索画面から直接印刷できること。
- ・ 起動初期画面には、日程単位の会議一覧とその発言者リスト、発言の冒頭本文が表示され、さらに検索時には検索語ヒット語句を含む前後の発言部分も合わせて表示すること。
- ・ AND、OR、NOTを組み合わせた検索式により検索できること。
- ・ ヒット箇所の次会議、次日程、次発言、次答弁、次質疑にジャンプできること。
- ・ 1画面表示/2画面表示の切り替えができること。
- ・ 2画面表示について、表示位置を左右上下等の切り替えができること。

⑤ アクセスログ解析サービス

アクセスログを解析し、グラフ等を含めレポート化するサービスを提供すること。

ア) 月別、週別、日別、曜日別、時間別等すべて集計レポートができること。

イ) 利用者のドメイン、ブラウザ概要等、OSのレポートが可能であること。

ウ) アクセスした検索機能別レポートが可能であること。

エ) キーワード検索した用語の集計が可能であること。

⑥ ホスティング（ASP）サービス

ア) IDC（インターネット・データ・センター）仕様

- ・ 財団法人・日本情報処理開発協会（JIPDEC）が定める、ISMS認証（ISO/IEC27001）を持つこと。
- ・ IDCにサーバーを設置し、24時間、365日休みなく安全に配信できること。
- ・ 耐震を施した施設であること。

- ・生体認証、24 時間監視カメラ、常駐運用員による入退室管理等を行うこと。
- ・無停電装置、自家発電機による無停電連続運用が可能であること。
- ・常時、サーバーの運用に最適な温度、湿度を確保すること。
- ・延焼防止を考慮した館内及びハロン消化が可能であること。
- ・キャビネットラックが施錠化していること。
- ・ネットワーク、電源が二重化された専用回線であること。
- ・10Mbps の共用回線であること。
- ・検索システム専用のサーバーであること。

イ) サービス運用内容

検索システムが、インターネット上で、日常正常に動作するよう次に掲げる業務を行う。

- ・検索システムの運用
- ・サーバーの維持管理
- ・データベースの暗号化による改ざん防止策
- ・データベースの更新作業
- ・OS のセキュリティ対策（バージョンアップ・リビジョンアップ作業を含む。）
- ・会議録データベースのシステム（検索エンジン、シソーラス辞書、文書管理ソフト）のバージョンアップ作業
- ・文書管理ソフトのカスタマイズ作業
- ・ユーザーシソーラスの登録及び更新作業
- ・必要に応じた技術員又は説明員の派遣
- ・検索システム使用に関する質問調査等に対するサポート

⑦障害対応版ローカルシステムについて

- ・稲敷市議会事務局内に Web 版ではない単体稼動するスタンドアロン版システムをセットアップし、更新ごとにデータを CD-ROM 納品し、バックアップシステムとし障害時にも対応できること。
- ・人名ビュー機能：人名順や役職順に並べて表示できること。
- ・発言一括抽出機能：過去の数年分のデータの中から任意の人名、役職の発言を一括抽出し、WORD に書き出すことができること。
- ・発言編集機能：発言の一部、または全部を指定して、必要な発言部分を収集することが可能であること。

⑧会議録検索システムデータ作成について

- (1) 全て、一般的なブラウザによる運用で、利用者の端末には、一切プログラム等をインストールする仕組みでないこと。
- (2) 受託者側の管理するインターネット・データ・センターによる ASP サービスであること。
- (3) 本業務を行うにあたっては、稲敷市議会事務局が別途指示する機能及び画面のカスタマイズを施したパッケージソフトをアプリケーションソフトとする
- (4) 受託者が、インターネットブラウザより、移行されたサイトを更新出来る仕組みとすること。
- (5) システムのデータ更新時、ユーザー名とパスワードで更新者を制限できること。
- (6) 更新できる権限を、受託者で管理・更新できること。
- (7) 管理、更新の作業を行うときに html タグの入力が不要であること。
- (8) 発議案・請願陳情を個別で検索できる仕組みであること。
- (9) 発言通告から会議録及び議会中継へのリンクが出来ること。

7 議会映像配信システムの運用委託

定例会及び臨時会（以下「本会議」という。）の審議状況を、インターネットによる録画中継を円滑に行うために、映像配信の管理・運用を行う。

6 で定める会議録検索システム及び議会文書管理システムと連携し、質問通告から該当の会議録及び録画放映ページへリンクなど、市民にとってより利便性の高い中継業務を行う。

① 映像配信業務とアクセス回線について

- ・定例会(6月、9月、12月、3月)及び臨時会の本会議の全日程を、会議開始から会議終了までの映像の録画配信を行うこと。中継日は、それぞれ別に委託者が指定する日とする。
- ・議会中継システム及び配信サーバーは、6 ⑥ ア) で記載する要件を満たす IDC (インターネット・データ・センター) からホスティング形式で配信すること。
- ・映像ファイルの配信帯域は 200kbps から 300kbps 程度の配信帯域とし、同時アクセス数を 1,000 名程度同時に視聴できることとする。
- ・稲敷市議会配信用に配信帯域は常に 1Gbps 以上を確保できる仕組みであること。
- ・同時接続数に制限を設けないこと。
- ・映像は、PC 及びインターネットが利用可能な各携帯端末及びタブレット端末で視聴可能であること。
- ・配信形式は、ストリーミング形式とし、プログレッシブダウンロードによる擬似ストリーミングは不可とする。
- ・動画再生前や再生中に広告や関連動画が表示されないこと。
- ・動画(右クリックした場合など)から動画配信サービス名や企業名などの表示及びそれらのサイトへのリンクがされないこと。
- ・議会映像配信サイトは、一画面で映像及び会期日程、発言通告などが見られるように考慮し、ウェブアクセシビリティが確保された画面デザインになっていること。なお画面には議員の顔写真の表示を可能とすること。

② 議会中継について

- ・録画中継は、議事日程ごと並びに会派代表質問、一般質問及び議案質疑の際の議員ごとに部分視聴が可能な映像(以下「編集済み映像」という。)を議会映像データ取得の翌日から起算して5日後(ただし土日祝祭日は除く。)午後5時までに確認画面を用意し、必ず事務局の検査、確認を受けた後、速やかに一般公開すること。
- ・「公開同様の確認画面」とは、受託者は本番環境とは別に用意するものとし、事務局の検査・確認後・発言取り消し等、編集済み映像の加工が必要であるとの判断をした場合は、その指示に従い速やかに編集済み映像を編集すること。
- ・検査の結果、事務局の指示により配信を遅延せざるを得ない場合、受託者の責は問わない。ただし、受託者が遅延と予見しながら、その旨を事務局に通知していない場合はこの限りでない。
- ・録画中継の配信期間は、公開開始日から事務局が指定する期間(最大5年)とする。
- ・事務局が指定する配信期間をすぎたデータは、本会議単位で速やかに削除すること。
- ・稲敷市議会用の議会中継ページを作成すること。
- ・一般視聴者が閲覧できる公開サイト以外に、サイトを管理する管理者サイトを設け、この管理者サイト上の管理画面にて委託者が確認後、一般公開できること。
- ・管理画面は全てブラウザ上から操作でき、ユーザー名とパスワードによって管理されること。
- ・管理画面は受託者でも委託者でも運用が可能であること。
- ・録画中継画面から「会議名」「議員名」「発言通告キーワード」での検索が可能で会議名・議員名での絞り込みが出来ること。
- ・録画中継ページの映像頭出し区切りは事務局が指定する箇所ごととし、およその時間軸は委託者が受託者に指示する。
- ・会議名、会議日、日程、議員名、議員顔写真、通告内容などの情報を引用して録画映像と合わせて表示できること。
- ・録画中継ページは会議名、会議日、日程、議員名、議員顔写真、通告内容などの情報を引用して録画映像と合わせて表示できること。
- ・「内容」、「会議名」、「議員名」、「発言種別」等で絞り込み検索が可能であること。
- ・「会議名から選択」して閲覧し視聴が可能であること。
- ・「議員名から選択」して閲覧し視聴が可能であること。
- ・「発言通告から選択」して閲覧し視聴が可能であること。
- ・日程表から該当の日の録画放映ページへ自動リンクすること。

- ・質問通告のみを単独で閲覧・検索できるサイトを設けること。
 - ・質問通告サイトでは、「質問内容」、「会議名」、「議員名」等で検索が可能であること。
 - ・質問通告サイトでは、該当の質問者の録画放映ページへのリンクが自動的に表示されること。
 - ・管理画面から一切タグを使用せずに簡単に議会中継サイトを作成でき委託者・受託者双方が簡単に作成・修正・削除を行えること。
 - ・議会文書管理システム内での操作で、会議録リンクを可に設定することで、自動的に該当の会議録発言本文へのリンクを表示させること。
 - ・会議録検索システムの発言者一覧から該当の映像が再生できること。
 - ・管理画面から録画議会中継ページのクリックアクセス数のログ集計一覧を表示する機能があること。
 - ・クリックアクセスの集計は、配信日の期間を指定し、月別、日別、日単位の時間別、アクセス元で可能であること。また録画放映では閲覧ページ別で可能であること。
 - ・クリックアクセスの集計は、ブラウザで表示以外に、EXCEL 形式で出力可能であること。
- ③ 事務局及び受託者の業務
(事務局が行う業務)
- ・会期日程、質問通告書等の資料及び中継映像の提供。なお会期日程、質問通告書等の資料については、確定次第速やかに受託者へ提供すること。
 - ・録画中継映像の頭出し箇所、終了箇所及び発言取消し等の編集指示。
 - ・録画中継映像の外部記憶媒体での提供。
- (受託者が行う業務)
- ・インターネットを通じて、議会録画映像及び中継に係る Web コンテンツの提供。
 - ・録画中継のホームページ作成業務
 - ・会期日程や質問通告等の資料からの入力及び映像リンク作業
 - ・録画中継及び動画配信サーバーの障害監視及び保守業務
 - ・メンテナンス等でやむを得ずサービスを一時停止する必要がある場合には、あらかじめ事務局に連絡の上、承認を得ること。
 - ・その他インターネット配信を遂行するために必要な作業
- ④ 使用機器
(録画配信サーバー)
- ・配信サーバーについては、常に万全のセキュリティー対策を施して不正侵入やコンテンツの改ざん等の不正アクセス防止に努めること。なおデータ用ディスク容量は、最大 5 年分のデータが蓄積できること。また拡張性を考慮し、容易にディスク要領が拡張可能なこと。
 - ・ソフトウェアを含む使用機器は、過去に稼動実績を有しているなど高い信頼性を有している製品を使用し、それらを構築した状態でシステムとして不具合なく動作するとともに、万一障害が発生した場合は迅速に対応できる製品であること。
 - ・技術革新の進展及び配信環境の変化に応じ、適宜、使用機器等の更新、見直しを行うこと。
- ⑤ IDC (インターネット・データ・センター) について
- ・IDC にサーバーを設置し、24 時間・365 日休みなく安全に配信すること。
 - ・財団法人・日本情報処理開発協会(JIPDEC)が定める、ISMS 認証(ISO/IEC27001)を持つこと。
 - ・データセンター障害、ルーター、スイッチ類などどのような障害にもサービスが停止しない冗長化構成を構築すること。
 - ・リソース監視及び 24 時間有人監視を行うこと。
 - ・IDC 目的以外の事務所テナントが同建物内にない事。
 - ・無補給で数日稼動できる自家発電設備を搭載し、変電所から複数系統の受電設備があること。
- ⑥ ライブ配信への拡張機能について
- ・議会文書管理システムの機能内に生中継ページについて、表示されるコメントやリンクを自由に登録でき、管理画面からクリックひとつであらかじめ登録されたコメントやリンクの

切替が可能であること。これにより「生中継中です。休憩中です。開会が遅れています。本日の会議は終了しました」等事務局で設定した表示が可能となること。

- ・議会開催時刻になると自動的に生中継中のコメントやリンクが表示される配信予約機能があること。
- ・配信予約を行うと会議名、会議日、日程、議員名、議員顔写真、通告内容などの情報を自動取得し議会映像と合わせて表示できること。

8 委託条件

- ① 音声反訳の単価は、1時間未満の場合は1時間とし、1時間を超過した場合は、30分単位とする。印刷製本は、定例・臨時会と各委員会に分け、それぞれ1ページあたりの単価とする。会議録検索システムの単価は、ホスティング料（月額）、データ加工料（頁）の単価とする。現在公開中のデータ移行の費用も含めること。映像配信システムの単価は、初期構築費用とランニング費用を合わせた月額の単価とする。
- ② 入札に当たっては、①で掲げた種別毎に単価を設定し、それぞれ内訳書に掲げる予定時間等（印刷製本についてはページ数及び予定数量）を乗じた金額の総額（税抜き）で入札することとし、内訳書については入札時に入札書と同封すること。なお、見積もりに係る予定時間数等は入札のために設定した予定数であり、その数を保証するものではない。
- ③ 契約に当たっては、内訳書に記載された種別毎の単価をもって契約するものとする。
- ④ 委託料は、四半期毎に支払う。ただし、両者の協議により支払い期日を変更できる。

9 その他

- ① この契約は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第234条の3の規定による長期継続契約であるため、この契約の締結の日の属する年度の翌年度以降において、当該契約に係る発注者の歳出予算において減額又は削除があった場合、発注者は、この契約を変更し、又は解除することができる。
- ② 本仕様に特に定めのない事項については、両者の協議調整により定める。

10 契約期間 契約締結日から令和9年3月31日まで

履行期間 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで